



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

教育支援・地域振興について

教育支援について

問 就学援助は市広報やHPでも

広報し、市民周知していくべき。

学校でのお知らせの配布・回収

や援助品目の拡大、入学準備金

の先行支給等、制度の改善は。

答 学校からも申請漏れがないよ

う努め、就学援助の支給内容も

今後さらに検討をすすめます。

問 市の奨学金は高校生対象だが、

高校無料化の影響もあり最近は

申請者がいない。対象を大学生

等にし、給付型等の制度創設は。

答 給付型奨学金等は課題もあり、

導入は慎重に検討します。

問 中学校の入学準備には制服や

学用品等、保護者負担が大きい。

制服のリユース等、行政が支援

して負担軽減をしては。

答 制服のリユースは市内三校が

PTAと連携して行っています。

教育委員会として支援できるこ

とを精査し、検討します。

プレミアム付商品券について

問 昨年実施したあんなかプレミ

アム付商品券はどのように使用

されたか。

答 食品スーパーが一番多く使用

され、大型店・一般店併用券の

使用割合は大型店が八割、一般

店が二割でした。

問 使用目的の支出割合は。

答 普段の買い物か八割、商品券

入手が動機の買い物か二割です。

問 商品券事業の課題は。

答 換金方法や併用券と一般店専

門券との発行バランス等です。



小学生通学風景



金井 久雄
(日本共産党安中市議員)

子どもの貧困対策・農業振興対策について

計画策定・条例化について

問 自治体でも計画を立てること

となっているが対応はどうか。

答 貧困対策を総合的に推進する

目的で施行され、県は四年間で

「推進計画」を策定しました。

必要に応じて「市の計画策定」

をしていきたいと思っています。

子どもの学習支援について

問 塾に通うお金がなく、学習に

遅れる子どもたちに、行政やポ

ランティアによる学習支援が全

国で始まっているが市の実態は。

答 市でも指導員を確保し三月か

ら開始しています。毎週日曜午

後二時間。十二名ほど通ってい

ます。

子ども食堂について

問 まともな食事や朝食を食べら

れないという子ども向けに「子

ども食堂」に取り組む自治体も

増えているが、市内でもNPO

が「子ども食堂」を始めると聞

くが支援についての計画は。

答 七月から市内NPOが実施す

る予定です。どのような支援が

できるか検討します。

碓氷製糸の営業形態について

問 新聞報道では、碓氷製糸が株

式会社へ移行する旨の報道があ

ったが、現場の組合の認識をど

のように見ているか。

答 組合は「将来的に株式会社化

の案も選択肢としてある」と取

材に答えたもので、養蚕農家が

ある限り形態を変えずに事業を

継続していくと答えています。



春繭の出荷風景